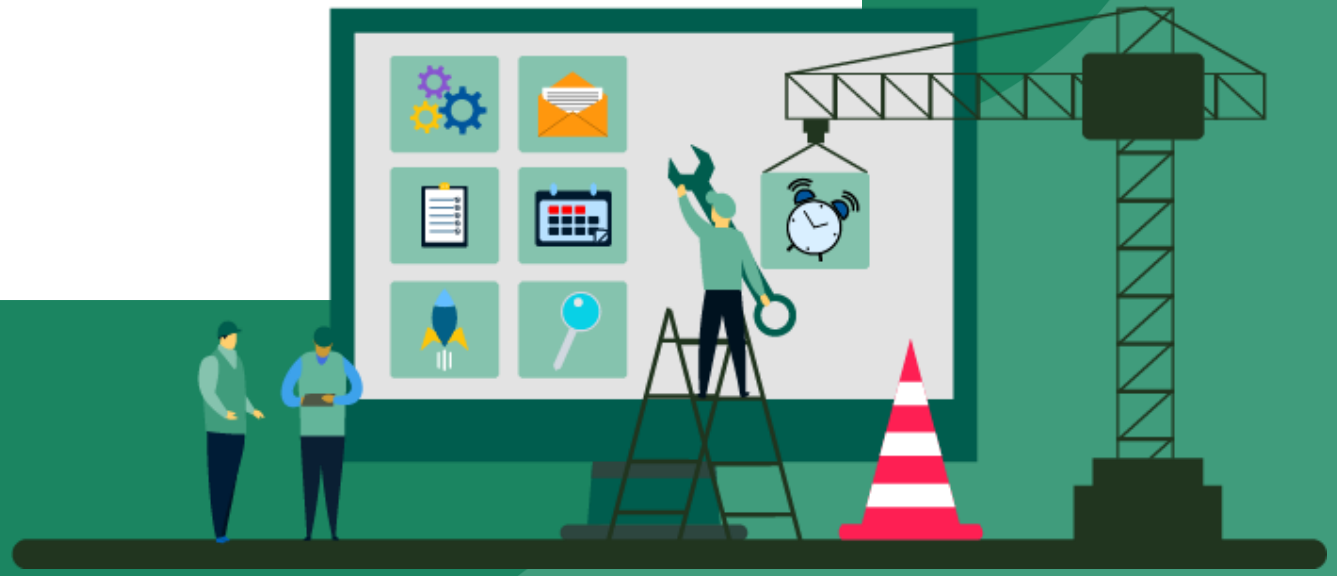
backlog by nulab

建設業界の方向け

建設業の83%『 他メンバーの作業状況が見えていない 』

現場間の進捗ブラックボックスを解消する

Backlog活用ガイド



建設現場で起きる「進捗ブラックボックス」

建設現場では多様な関係者が同時並行で動くため、情報やタスクが分散しがちです。その結果、全体像が把握できず判断や着手が遅れてしまい、生産性低下の大きな要因となります。

83%

「他メンバーの作業状況が見えず、次の作業に進めない」と回答

作業状況が見えない問題

前工程の完了が確認できないため待ち時間が発生し、現場全体の流れが滞る構造に。

72.4%

「タスクが整理されず、着手や完了が遅れる」と回答

タスク整理不足による遅延

現場代理人・協力会社・社内関係者間で優先度の認識がずれ、重要な作業が後回しになる。

72.3%

「タスクの優先順位がプロジェクトメンバー内で共通認識化されていない」と回答

優先順位の不一致と情報分散

情報が分散した結果、誰が何を優先すべきか判断できず、着手遅れ・完了遅れが連鎖的に発生している。

【アンケート調査】
「プロジェクト管理に関する調査」（調査実施：2026年2月）本項の調査データは、勤務先業種を「建築・土木・不動産」と回答した人（n数＝47）が対象

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

なぜ、各現場間の進捗は見えにくくなるのか

建設現場で進捗が見えにくいのは、連絡不足ではなく構造の問題です。
情報が「人」と「ツール」に分散し、誰が何を完了したのかが把握しづらくなっているのです。

原因 01



情報分散により「探す時間」がかかる

工程表はExcel、是正対応はメール、協力会社との連絡はチャット、図面は共有フォルダなど、情報が分散し、複数のツールを探し回る必要がある。

原因 02



タスク未整理が遅れを招く

情報が散在すると必要な情報が揃わないため、判断が後回しになり、作業開始や完了確認が遅れていく。

原因 03



タスクと成果物が紐づいていない

「写真はあるが承認履歴が不明」「是正内容はメールにあるが反映状況が分からない」といった状態が起き、完了条件や最終確認者を追いにくくなる。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

業務管理を改善する3つのポイント

調査では約7割が「進捗や成果物の確認」に負担を感じると回答。
作業そのものより「確認する仕事」が増えている現状の改善策を考えます。

POINT 01

タスクを一元管理する

工程、是正対応、安全対応などのタスクを一元管理することで、
進捗確認そのものの負担を大きく減らします。

POINT 02

誰が・いつまでに・何を優先するのかを明確に

関係者が多い現場ほど認識のズレが起きがち。
共通画面で可視化し、無駄な確認や待ち時間をなくします。

POINT 03

成果物と確認履歴を残す

図面・写真・是正報告をタスクに紐づけ。
完了条件や最終確認者が明確になり、成果物確認の負担を最小化します。

Backlogなら、現場の進捗や成果物の確認負担を軽減できます

【アンケート調査】
「プロジェクト管理に関する調査」（調査実施：2026年2月）本項の調査データは、勤務先業種を「建築・土木・不動産」と回答した人（n数＝47）が対象

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogってなに？

Backlogは、建設現場で発生する個別の作業・確認事項を一元管理できるプロジェクト・タスク管理ツールです。担当者・ステータス・コメント・関連資料などを見える化し、チームで追える形に整理できます。



backlog by nulab

作業内容、担当者、期限、状態、
データをまとめて管理



- 進捗確認
- 是正対応
- 協力会社への依頼
- 図面・写真の提示

- 可視化
- データ共有
- 進捗管理
- 報告書作成

担当者・会社ごとの状況や経緯を同じ場所に残せるため、個別確認に頼らずチーム全体で進捗を把握できる

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること

現場の作業内容、協力会社とのやり取り、是正対応などを「課題」として一元管理。
誰が・いつまでに・何をするかが、ひとつの画面で見える化されます。

作業状況が見えない	**対応の抜け漏れ・期限遅れを防ぐ** 工程変更や是正対応も、すべて課題として登録。	課題管理 ステータス管理 担当者・期限
ベテラン監督にしか ノウハウがない	**進捗と経緯を、聞かなくてもわかる状態に** ガントチャートで進行を可視化。判断の経緯も課題に記録。	カンバンボード ガントチャート コメント
データの保管場所が わからない	**情報と成果物を、探さなくていい場所に** 図面・写真・是正報告まで課題に紐づけ	ファイル共有 ドキュメント

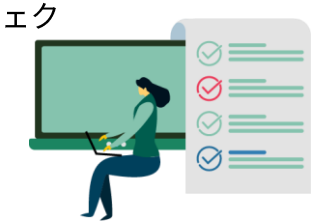
Backlogはユーザー数無制限*。
チームメンバー・協力会社など人数を追加しても費用はそのまま。アクセス権制御でセキュリティも確保。

* 対象プランや推奨人数など、詳しくはこちら

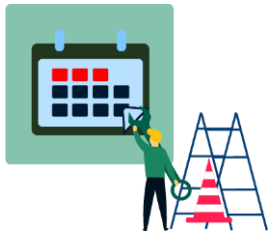
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設業界でのBacklog活用シーン

01
現場ごとの進捗を一覧できる
現場ごとのタスク管理
工事案件ごとにプロジェクトを作成し、作業・確認事項を課題化



02
工程・期限の伝達漏れを防ぐ
工程変更の共有
変更内容、影響範囲、対応期限をタスクに記録



03
是正対応の抜け漏れを防ぐ
是正対応の管理
指摘内容、担当者、期限、対応写真、完了確認を紐づける



04
電話・口頭確認への依存を減らす
協力会社との確認事項
依頼・回答・確認履歴をタスク単位で残す



05
成果物確認の負担を減らす
図面・写真・資料共有
関連ファイルをタスクに添付し、最新版を確認できる状態にする



06
会議後の対応漏れを防ぐ
確認事項のToDo管理
会議で決まった対応事項をその場でタスク化



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

活用例

協力会社とのやり取りをBacklogに集約

メールやExcelに分散していた工事案件の管理をBacklogに集約することで、
協力会社との進捗確認や図面データのやり取りがスムーズに。

Case

建設業界／施工管理部門



導入前

協力会社とのやり取りがメールや電話に集中し、複数の工事案件の情報が混在。工程管理のExcelも担当者ごとに形式が異なり、現場の進捗や対応状況の共有が難しい。

Backlogの使い方

工事案件ごとに課題を作成し、対応状況をボードで可視化。図面や現場写真などの大容量データも、課題への添付やファイル共有でやり取りできるようにした。

導入後

現場ごとの進捗がひと目でわかり、停滞している工事のフォローがしやすい体制に。必要な情報をメールから探す負担も減った。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

まずは「1現場1工事」から

Backlogを導入する際、最初から全社・全現場に広げる必要はありません。
まずは進行中の1現場・1工事から始めてみましょう。

STEP 01
試す対象を決める
協力会社とのやり取りがある1現場・1工事だけで試験導入をする。

STEP 02
タスクの粒度を決める
工程変更、是正、検査対応などを「判断や確認が必要な単位」でタスク化する。

STEP 03
連絡・確認をタスクに紐づける
指示、確認、資料共有をタスクに集約し、履歴と成果物を残す。

STEP 04
2〜4週間で効果を確認する
2〜4週間運用し、進捗の見えやすさや確認負荷の変化を振り返る。

Point ≫ 最初のゴールは、現場全体のDXではなく、「確認漏れを減らすこと」に設定することが大切

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設現場でBacklogをお試し

散らばりがちな工事情報を、ひとつに。

まずは
使ってみる



30日間無料で試す

まずは
話を聞きたい



オンラインセミナー

相談しながら
決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.